

# EU Indicators

発表日: 2019年6月24日(月)

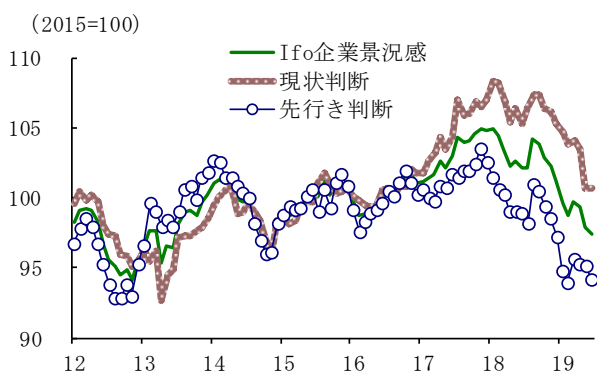
## 欧州経済指標コメント: 6月ドイツIfo企業景況感

～業況底打ちは幻に～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL: 03-5221-4527)

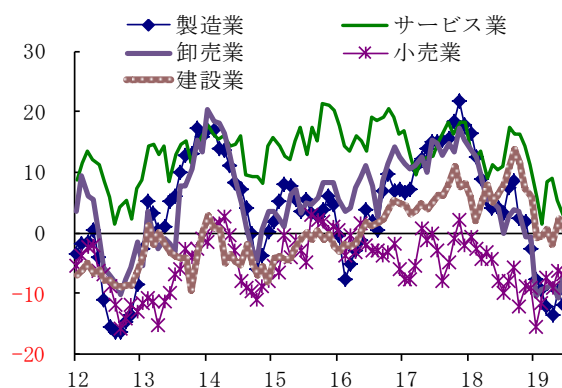
- 6月のドイツIfo企業景況感(2015年=100の指数)は3ヶ月連続で低下し、2014年後半以来の水準に落ち込んだ。内訳は、前月に大幅に悪化した現状判断(前月: 前月差▲2.8ポイント→今月: 同+0.1ポイント)が僅かに持ち直した一方で、先行き判断(同▲0.1ポイント→同▲1.0ポイント)が3ヶ月連続で悪化し、前月から悪化幅が加速した。先行き判断は、2012年後半以来の低水準に落ち込んだ今年2月の水準に再接近した。
- 21日に発表された6月のドイツのPMIが製造業、サービス業ともに前月から持ち直し、業況悪化に歯止めが掛かった可能性が示唆されたが、よりカバレッジの広いIfo指数の一段の悪化からは、貿易戦争の脅威などを背景に景気の先行き不透明感の高さを物語る。
- 業種別の先行きの業況判断(ゼロが分岐点)は、卸売業(前月: ▲10.9→今月: ▲6.8)の悪化幅が縮小した一方、製造業(▲9.8→▲11.9)、小売業(▲6.4→▲7.0)の悪化幅が拡大、サービス業(+5.3→+2.5)、建設業(+2.2→+0.5)のプラス幅が縮小し、全般に振るわない。製造業の業況低迷が続くなか、これまで景気を下支えしてきたサービス業や小売業の業況に陰りが広がっている点は気掛かり。追加緩和姿勢を強めるECBの政策判断を裏付ける内容。

■ドイツ: Ifo企業景況感



出所: Ifo

■ドイツ: 業種別の先行きの業況判断



出所: Ifo

■ドイツIfo企業景況感

	2018		2019		2018		2019									
	3Q	4Q	1Q	2Q	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	
企業景況感(総合)	103.4	102.1	99.4	98.2	104.2	103.9	102.9	102.3	101.2	99.6	98.8	99.7	99.3	97.9	97.4	
現状指数	107.1	106.0	104.2	101.7	107.4	107.4	106.4	106.2	105.4	104.7	103.9	104.1	103.5	100.7	100.8	
先行き指数	99.9	98.4	94.8	94.9	101.0	100.5	99.4	98.6	97.2	94.8	94.0	95.6	95.3	95.2	94.2	
業況判断	26.1	23.3	17.3	14.7	27.7	27.2	24.9	23.8	21.3	17.8	16.0	18.0	17.1	14.1	13.0	
製造業	23.7	17.3	9.1	3.2	24.3	23.7	18.9	18.0	15.0	11.4	9.2	6.7	4.1	3.9	1.5	
サービス業	31.7	30.4	24.4	22.5	33.3	33.6	31.9	31.6	27.6	25.0	21.7	26.4	26.5	21.0	20.0	
卸売業	16.5	14.8	8.5	6.9	17.0	16.9	15.9	14.1	14.3	9.0	6.9	9.5	9.6	4.4	6.8	
小売業	2.9	1.8	2.3	6.5	1.5	5.3	0.8	2.6	1.9	-1.3	1.0	7.1	3.8	6.8	8.9	
建設業	29.6	29.9	19.8	23.0	29.5	31.7	32.1	28.9	28.6	19.9	18.1	21.5	21.8	24.3	22.9	

出所: Ifo

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。